

社団法人日本補綴歯科学会 平成 20 年度事業報告書

I. 目的（定款第 4 条）

社団法人日本補綴歯科学会は、高い公益性をもち、社会のニーズに応えるため、歯科補綴学に関する学理及びその応用についての研究発表、知識の交換、会員相互及び内外の関連学会との連携協力等を行うことにより、歯科補綴学の進歩普及を図ると共にわが国の学術の発展に寄与し、もって国民の健康福祉の向上に貢献することを目的として、以下の事業を実施した。

II. 学術大会、講演会等の開催（定款第 5 条 1 項）

1. 第 117 回学術大会

第 117 回学術大会を、中国補綴歯科学会および韓国補綴歯科学会との共催で、「国際補綴歯科学会名古屋 2008」と冠して開催した。学会メインテーマを「咬合・咀嚼が創る健康長寿」とした。

- 1) 日時：平成 20 年 6 月 6 日（金）、7 日（土）、8 日（日）
- 2) 場所：名古屋国際会議場（名古屋市熱田区熱田西町 1-1）
- 3) 大会長：田中貴信（愛知学院大学歯学部 有床義歯学講座）
- 4) 後援：日本歯科医師会、日本歯科医学会、日本歯学系学会協議会、愛知県歯科医師会、愛知県歯科技工士学会、愛知県歯科衛生士会、愛知学院大学
- 5) 参加者数：2,826 名
 1. 会員 2,015 名
 2. 準会員 58 名
 3. 学生 87 名
 4. その他 666 名
- 6) 総演題数：242 演題
 1. 課題口演 56 演題
 2. 一般ポスター 88 演題
 3. 国際セッション
 - 1) ポスター 75 演題
 - 2) 一般口演 13 演題
 4. 専門医ケースプレゼンテーション 10 演題
- 7) 会場数
 1. 口演会場 4 会場
 2. ポスター会場 1 会場

3. 専門医ケースプレゼンテーション 1会場
4. 企業展示 1会場

8) 学術企画

日・中・韓共催セッション：基調講演

1. 座長：古谷野 潔（九州大・副理事長）
2. 講師
 - 1) Sang-Wan Shin（KAP 会長）
 - 2) Hailan Feng（CPS 会長）

特別講演：「認知症の最新情報」

1. 座長：服部正巳（愛院大）
2. 講師：遠藤英俊（国立長寿医療センター）

国際シンポジウム：”Tissue-Biomaterial Interface Research for Prosthodontic Dentistry”

1. 座長：佐々木啓一（東北大）
2. 講師
 - 1) Donald M Brunette (The University of British Columbia)
「Optimizing Tissue-implant Interfacial Interactions by Implant Surface Topography」
 - 2) Joek AJ Duyck (Catholic University of Leuven)
「Mechanobiology of the Bone-Interface」
 - 3) 吉田晴弘（岡山大）「Interfacial Control for Functional Reconstruction of Human Hard Tissues」

国際セミナー：“Teaching Critical Thinking”

1. 座長：矢谷博文（大阪大）
2. 講師：Donald M Brunette (The University of British Columbia)

シンポジウム I：「補綴歯科治療の何が問題で、なにを解決するか？」

1. 座長：市川哲雄（徳島大）
2. 講師
 - 1) 櫻井 薫（東歯大）「歯の欠如に対する補綴歯科治療に関するクリニカルクエスチョンの調査結果と分析」
 - 2) 森本達也（東海支部）「日常臨床での診察、検査の記録とその活用から」
 - 3) 窪木拓男（岡山大）「補綴治療の難易度を測定するプロトコルの信頼性の検討 - エビデンスに基づく補綴診断をめざして - 」

シンポジウム II : 「大規模災害時の緊急補綴歯科治療」

1. 座長：平井敏博（北医療大）
2. 講師
 - 1) 大久保満男（日本歯科医師会会長）「歯科医療の中心と周縁 - 歯科医療の新たな可能性を求めて - 」
 - 2) 宮村一弘（愛知県歯科医師会）「大規模災害への備え - 愛知県歯科医師会の場合 - 」
 - 3) 平井敏博（北医療大）「大規模災害時の緊急補綴歯科治療」

シンポジウム III : 「白歯部修復の審美と強度を考える」(日本歯科保存学会、日本歯科審美学会、日本補綴歯科学会共催)

1. 座長：中村隆志（大阪大）
2. 講師
 - 1) 宮崎真至（日本歯科保存学会、日本大）「接着技術が支える白歯部コンポジットレジン修復」
 - 2) 近藤隆一（日本歯科審美学会）「VITAPAN CLASSIC を超越した患者の要望とその対処法」
 - 3) 植松厚夫（日本補綴歯科学会、西関東支部）「ジルコニア白歯部修復の臨床における現状」
 - 4) 中村隆志（日本補綴歯科学会・日本歯科審美学会、大阪大）「白歯部修復に使用する歯冠色材料」

(公募型) シンポジウム 1 : 「歯科補綴学教育における問題解決型教育の実際」

1. 座長：小川 匠（鶴見大）
2. 講師
 - 1) 松香芳三（岡山大）「学生が患者面接を行い、問題点の抽出と治療計画立案を行うチュートリアル PBL」
 - 2) 大久保昌和（日大松戸）「米国歯科医学教育における PBL/CBL 教育について」
 - 3) 小川 匠（鶴見大）「模型実習、特に支台歯形成教育における問題解決型教育への応用」

(公募型) シンポジウム 2 : 「Bench to Clinic - 歯科領域における特許・実用化に向けた取り組み - 」

1. 座長：二川浩樹（広島大）
2. 講師
 - 1) 今里 聡（大阪大）「抗菌性接着システムの実用化 - 新規材料開発の光と影 - 」

- 2) 二川浩樹(広島大)「塩基性抗菌性ペプチドの応用と固定化抗菌剤を用いた洗剤の開発の2つの事例から」

(公募型)シンポジウム3:「皮膚科と歯科の連携による皮膚疾患治療」

1. 座長:村上 弘(愛院大)
2. 講師
 - 1) 鶴田京子、松永佳世子(藤田保健衛生大)「皮膚疾患と金属アレルギー」
 - 2) 池戸泉美(愛院大)「歯科医師による皮膚疾患治療」

研究セミナー:「歯科補綴学の統計解析 - 過去の論文を再考する - 」

1. 座長:田上直美(長崎大)
2. 講師
 - 1) 横山徹爾(国立保健医療科学院)「過去の投稿論文に学ぶ受理される統計解析」
 - 2) 田上直美(長崎大)「原著論文と統計」

教育セミナー:「患者の行動をかえるコーチング・コミュニケーション」

1. 座長:荒木章純(愛院大)
2. 講師:柳澤厚生(杏林大)

臨床スキルアップセミナー:「リライン材の正しい使い方と臨床効果」

1. 座長:原 哲也(岡山大)
2. 講師
 - 1) 村田比呂司(長崎大)「材料学的な整理と使い方」
 - 2) 木本克彦(神歯大)「軟性リライン材の臨床効果について」

歯科衛生セッション:「補綴歯科臨床における歯科医師・歯科衛生士の協働のあり方を探る」(日本歯科衛生士会・日本補綴歯科学会共催)

1. 座長:下山和弘(医歯大)
2. 講師
 - 1) 金澤紀子(日本歯科衛生士会)「歯科臨床における歯科衛生士業務の確立のために」
 - 2) 福岡幸子(福岡歯科医院)「かかりつけ歯科医院のかかりつけ歯科衛生士をめざして」
 - 3) 松下和子(愛院大附属病院)「歯科衛生士が行うセルフケアへの支援」
 - 4) 藤原 周(朝日大)「歯科医師が望む歯科衛生士の役割」

- 5) 下山和弘(医歯大)「歯科衛生士教育の現状とこれからの歯科衛生士の役割」

歯科技工セッション：「審美修復における補綴歯科専門医と歯科技工士(認定士)とのコラボレーション」(日本歯科技工学会・日本補綴歯科学会共催)

1. 座長：末瀬一彦(大歯大)
2. 講師
 - 1) 山田和伸(東海支部)「審美修復における補綴歯科専門医と歯科技工士とのコラボレーション」
 - 2) 六人部慶彦(関西支部)「予知性の高い審美治療のために歯科医師と歯科技工士との関係 - 歯周組織の安定を目指して - 」
 - 3) 末瀬一彦(大歯大)「審美修復に必要な情報連携」

カレントトピックス：「接着ブリッジ」

1. 座長：佐々木啓一(東北大)
2. 講師
 - 1) 寺田善博(九州大)
 - 2) 矢谷博文(大阪大)

市民公開講座：「高齢期の快適な食生活のために」

1. 座長：佐藤裕二(昭和大)
2. 講師
 - 1) 小野寺定幸(愛知県栄養士会)「高齢者の忘れてはならない栄養問題のポイント」
 - 2) 上谷律子(日本食生活協会)「食べることは生きること」
 - 3) 竹内一夫(愛院大)「義歯で快適に食べる」

専門医研修会：「顎機能障害の診断と発症原因を考慮に入れた治療」

1. 座長：松香芳三(岡山大)
2. 講師
 - 1) 藤澤政紀(明海大)「発症原因をコホート調査から紐解く」
 - 2) 馬場一美(昭和大)「パラファンクションと顎機能障害の発症」
 - 3) 松香芳三(岡山大)「顎機能障害に対する一般的な診断と治療法」

2. 支部学術大会

- 1) 東北・北海道支部

1. 日時：平成 20 年 10 月 18 日（土）、19 日（日）
 2. 場所：郡山ビューホテル
 3. 大会長：鎌田政善（奥羽大）
 4. 特別講演：「根分岐部病変処置後の補綴治療とメンテナンス」
 - 1) 座長：大畑 昇(北海道大)
 - 2) 講師：岡本 浩(奥羽大)
 5. 生涯学習公開セミナー開催（P12 参照）
 6. 市民フォーラム開催（P15 参照）
- 2) 東京支部、関越支部合同
1. 日時：平成 20 年 10 月 18 日（土）、19 日（日）
 2. 場所：日本歯科大学生命歯学部
 3. 大会長：新谷明喜（日歯大）
 4. 生涯学習公開セミナー開催（P12 参照）
 5. 市民フォーラム開催（P15 参照）
- 3) 東関東支部
1. 日時：平成 21 年 2 月 15 日（日）
 2. 場所：オークラ千葉ホテル
 3. 大会長：櫻井 薫（東歯大）
 4. 生涯学習公開セミナー開催（P12 参照）
 5. 市民フォーラム開催（P17 参照）
- 4) 西関東支部
1. 日時：平成 21 年 1 月 25 日（日）
 2. 場所：神奈川県歯科医師会館
 3. 大会長：木本克彦（神歯大）
 4. 合同開催：神奈川県歯科医師会学術大会
 5. 生涯学習公開セミナー開催（P12、13 参照）
 6. 市民フォーラム開催（P17 参照）
- 5) 東海支部
1. 日時：平成 20 年 11 月 29 日（土）、30 日（日）
 2. 場所：じゅうろくプラザ
 3. 大会長：高木幹正（岐阜県歯科医師会会長）
 4. 特別講演：「ストレスと歯科」
 - 1) 座長：高木幹正（岐阜県歯科医師会会長）
 - 2) 講師：倉澤郁文（松歯大）
 5. 生涯学習公開セミナー開催（P13 参照）
 6. 市民フォーラム開催（P16 参照）

6) 関西支部

1. 日時：平成 21 年 2 月 8 日（日）
2. 場所：社団法人和歌山県歯科医師会館
3. 大会長：前田芳信（大阪大）
4. ミニシンポジウム：「欠損を拡大しない補綴を目指して」
 - 1) 座長：池邊一典（大阪大）
 - 2) 講師
中村隆志（大阪大）「歯根破折、ミニマルインターベンションの立場から」
岡崎定司（大歯大）「有床義歯（高齢者歯科）の立場から」
阪本貴司（関西支部）「インプラント補綴の立場から」
5. 生涯学習公開セミナー開催（P13 参照）

7) 中国・四国支部、九州支部合同

1. 日時：平成 20 年 8 月 30 日（土）、31 日（日）
2. 場所：B-Con Plaza（ビーコンプラザ）
3. 大会長：鱒見進一（九歯大）
4. 特別講演 1：「高齢者の義歯」
 - 1) 座長：皆木省吾（岡山大）
 - 2) 講師：濱田泰三（広島大）
5. 特別講演 2：「補綴に役立つ有機材料」
 - 1) 座長：鱒見進一（九歯大）
 - 2) 講師：熱田 充（元長崎大）
6. 生涯学習公開セミナー開催（P13 参照）
7. 市民フォーラム開催（P14、15 参照）

III. 学会誌その他の刊行物の発行（定款第 5 条 2 項）

1. 日本補綴歯科学会雑誌：3 回発行
第 52 巻 2 号～4 号
2. 日本補綴歯科学会誌：1 回発行
第 1 巻 1 号
3. Prosthodontic Research and Practice（PRP、英文誌）：1 回発行
Vol. 7、No. 2
4. Journal of Prosthodontic Research（JPR、英文誌）：1 回発行
Vol. 53、No. 1

5. 大会抄録集：1回発行
日本補綴歯科学会雑誌 第52巻 第117回特別号
6. 会員向けニュースレター（Letter for Members）を4回（No. 28、29、30、31）発行

IV. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第5条3項）

1. 学会優秀論文賞

学会論文賞

- 1) 森戸光彦（鶴見大）
- 2) 五十嵐順正（医歯大）

特定推進研究優秀論文賞

- 1) 松野彰仁（大歯大）

中堅優秀論文賞

- 1) 石垣尚一（大阪大）
- 2) 村上 格（鹿児島大）

奨励論文賞

- 1) 田坂彰規（東歯大）
- 2) 牛来慎太郎（東北大）
- 3) 高橋 史（日歯大新潟）
- 4) 犬飼美香（医歯大）
- 5) 吉嶋佑佳（徳島大）

2. 学会特別功労賞

- 1) 井上 宏 名誉会員
- 2) 濱田泰三 名誉会員
- 3) 坂東永一 名誉会員
- 4) 細井紀雄 名誉会員
- 5) 渡邊 誠 名誉会員

3. 第117回日本補綴歯科学会学術大会優秀ポスター賞（デンツプライ賞）

- 1) 篠宮摩弥子（日大松戸）
- 2) 大久保 舞（医歯大）
- 3) 塚野寛久（九州大）
- 4) 田中みか子（新潟大）
- 5) 完山 学（岡山大）
- 6) Lingyi Liu（Peking University）
- 7) Kyu Kim（Kyung Hee University）

4. 第117回日本補綴歯科学会学術大会課題口演コンペティション優秀賞

- 1) 三浦宏之（医歯大）
- 2) 吉田有里（徳島大）
- 3) 重光竜二（東北大）
- 4) 田邊憲昌（岩手医大）
- 5) 鈴木 祐（東北大）
- 6) 和田淳一郎（医歯大）
- 7) 中島純子（防衛医科大）
- 8) 末廣史雄（広島大）

V. 認定医・専門医の育成（定款第5条6項）

1. 専門医制度

平成 17 年 8 月 7 日から専門医制度に移行し、専門医 1,204 名（うち指導医 739 名）認定医 67 名（うち指導医 1 名）である。指定研修施設 97 か所（甲 80 施設、乙 17 施設）が認定されている（平成 21 年 3 月 31 日現在）。

なお、平成 17 年 8 月 8 日に施行された日本補綴歯科学会専門医制度について、日本歯科医学会認定医・専門医制協議会での審議を経て、日本歯科医学会で「補綴歯科専門医」を可とする決定を得た後、平成 18 年 1 月 24 日厚生労働省に正式に申請済である。

2. 認定事業

第 1 回認定部会（平成 20 年 4 月 14 日）において、新規専門医 25 名、専門医の更新 175 名を認定し、更に、認定医から専門医への切り替え 2 名を認定した。新規指導医申請 13 名について適格であると認定した。認定研修機関の新規申請について、（甲）2 機関、（乙）1 機関について適格であると認定した。認定研修機関の更新申請について、（甲）2 機関を認定した。

3. 第 2 回認定部会（平成 20 年 9 月 19 日）において、新規専門医 16 名、専門医の更新 64 名を認定し、さらに、認定医から専門医への切り替え 3 名を認定した。新規指導医申請 11 名について適格であると認定した。認定研修機関の新規申請について、（乙）2 機関について適格であると認定した。認定研修機関の更新申請について、（甲）62 機関を認定した。

4. 専門医申請ケースプレゼンテーション：46 題

- 1) 第 117 回学術大会 10 題
- 2) 東北・北海道支部学術大会 5 題
- 3) 東京支部、関越支部合同学術大会 7 題
- 4) 東関東支部学術大会 5 題
- 5) 西関東支部学術大会 4 題
- 6) 東海支部学術大会 3 題

- 7) 関西支部学術大会 5 題
- 8) 中国・四国支部、九州支部合同学術大会 7 題

5. 専門医症例論文

平成 20 年において、専門医症例報告論文の 47 編が査読対象となった。

6. 平成 20 年度専門医研修会の開催

第 117 回学術大会との併催で、平成 20 年 6 月 8 日に、専門医研修専門医研修会：「顎機能障害の診断と発症原因を考慮に入れた治療」が開催された。

- 1) 座長：松香芳三（岡山大）
- 2) 講師
 1. 松香芳三（岡山大）「顎機能障害に対する一般的な診断と治療」
 2. 藤澤政紀（明海大）「発症原因をコホート調査から紐解く」
 3. 馬場一美（昭和大）「パラファンクションと顎機能障害の発症」

VI. 関連学術団体との連絡及び協力（定款第 5 条 4 項）

日本歯科医学会

- 1) 理事：平井敏博
- 2) 評議員：佐々木啓一、古谷野 潔、矢谷博文
- 3) 予備評議員：志賀 博、佐藤裕二、川良美佐雄
- 4) 歯科学術用語委員会委員：谷口 尚
- 5) 学術研究委員会委員：佐々木啓一

日本歯科保存学会、日本歯科審美学会との共催シンポジウムの開催（第 117 回学術大会 大会長 田中貴信（愛院大））

- 1) シンポジウム III：「臼歯部修復の審美と強度を考える」
- 2) 座長：中村隆志（大阪大）
- 3) 講師
 1. 宮崎真至（日本歯科保存学会、日本大）「接着技術が支える臼歯部コンポジットレジン修復」
 2. 近藤隆一（日本歯科審美学会）「VITAPAN CLASSIC を超越した患者の要望とその対処法」
 3. 植松厚夫（日本補綴歯科学会、西関東支部）「ジルコニア臼歯部修復の臨床における現状」
 4. 中村隆志（日本補綴歯科学会・日本歯科審美学会、大阪大）「臼歯部修復に使用する歯冠色材料」

日本歯科衛生士会との共催シンポジウムの開催（第 117 回学術大会 大会長 田中貴信（愛院大））

- 1) 歯科衛生セッション：「補綴歯科臨床における歯科医師・歯科衛生士の協

働のあり方を探る」

- 2) 座長：下山和弘（医歯大）
- 3) 講師
 1. 金澤紀子（日本歯科衛生士会）「歯科臨床における歯科衛生士業務の確立のために」
 2. 福岡幸子（福岡歯科医院）「かかりつけ歯科医院のかかりつけ歯科衛生士をめざして」
 3. 松下和子（愛院大附属病院）「歯科衛生士が行うセルフケアへの支援」
 4. 藤原 周（朝日大）「歯科医師が望む歯科衛生士の役割」
 5. 下山和弘（医歯大）「歯科衛生士教育の現状とこれからの歯科衛生士の役割」

日本歯科技工学会との共催（第 117 回学術大会 大会長 田中貴信（愛院大））

- 1) 歯科技工セッション：「審美修復における補綴歯科専門医と歯科技工士（認定士）とのコラボレーション」
- 2) 座長：末瀬一彦（大歯大）
- 3) 講師
 1. 山田和伸（東海支部）「審美修復における補綴歯科専門医と歯科技工士とのコラボレーション」
 2. 六人部慶彦（関西支部）「予知性の高い審美治療のために歯科医師と歯科技工士との関係 - 歯周組織の安定を目指して - 」
 3. 末瀬一彦（大歯大）「審美修復に必要な情報連携」

VII. 国際的な研究協力の推進（定款第 5 条 5 項）

海外の補綴歯科学会および関連学会との交流の促進、活動状況の会員への広報などを行った。

1. Korean Academy of Prosthodontics（KAP）ならびに Chinese Prosthodontics Society（CPS）との交流について
第 1 回の 3 か国 Joint meeting が、2008 年 6 月 7 日（土） - 8 日（日）の日程で第 117 回日本補綴歯科学会学術大会（大会長 田中貴信（愛院大））にて開催された。
2. Indian Prosthodontic Society（IPS）との交流について
第 36 回インド補綴学会に佐々木副理事長、佐藤国際渉外委員長が代表施設として参加し、今後の具体的交流（学生（インド大学院生）の派遣、学会誌の交流、共催学会）について話し合いを持った。また、鱒見進一（九歯大）、細川隆司（九歯大）、城戸寛史（福歯大）が招待講演を行った。なお、学生の派遣の件は

以下の要領ですることになった。

- 1) インド補綴学会で4名の派遣大学院生(3年の補綴専門医コースの2年生)を2009年4月までに決定。
- 2) 渡航費、生活費、プログラム関連費は大学院生が負担。
- 3) インド補綴学会は我々が以前に提出している可能な講座、教授リストを参考に、興味のある臨床、研究分野ならびに希望の大学等(北や南の大学など)の希望を聞き取り、日本補綴歯科学会に連絡する。
- 4) 日本補綴歯科学会では上記のデータを参考に、2009年5月末までに、可能性の高い講座をインド補綴学会ならびに大学院生に通知。
- 5) 大学院決定。
- 6) 2009年9月から12月までの2～4か月のプログラム(臨床、研究のいずれでも可)を実施。

3. International College of Prosthodontists (ICP) について

ICP への JPS の Organizational membership について、正規のスポンサーリングをすることになり、4月に申請することになった。

4. International Association for Dental Research について

IADR Prosthodontic Group への JPS のスポンサーリングについて、第 87 回 IADR まではスポンサーリングをすることになった。

VIII. 歯科医療の向上の推進(定款第5条6項)

1. 生涯学習公開セミナーの開催

1) 東北・北海道支部

1. 日時：平成20年10月19日(日)
2. 場所：郡山市民交流プラザ
3. テーマ：「接着ブリッジを用いた欠損補綴」
4. 講師
 - 1) 田中卓男(鹿児島大)
 - 2) 日景 盛(北医療大)
5. 座長：嶋倉道郎(奥羽大)

2) 関越支部

1. 日時：平成20年11月30日(日)
2. 場所：だいしホール
3. テーマ：「インプラントの臨床と補綴物の材料特性」
4. 講師
 - 1) 小司利昭(日歯大新潟)
 - 2) 渡邊孝一(新潟大)

5. 座長：小林 博（新潟大）
- 3) 東関東支部
 1. 日時：平成21年2月15（日）
 2. 場所：オークラ千葉ホテル
 3. テーマ：「接着ブリッジの基本術式と診療、技工指示における留意点」
、「こんな症例にも使える接着歯冠修復のテクニック」
 4. 講師
 - 1) 松村英雄（日本大）
 - 2) 清水博史（福歯大）
 5. 座長：藤澤 政紀（明海大）
 - 4) 東京支部
 1. 日時：平成20年10月18日（土）
 2. 場所：日本歯科大学生命歯学部富士見ホール
 3. テーマ：「支台歯を守る接着ブリッジの臨床」
 4. 講師：松村英雄（日本大）
 5. 座長：新谷明喜（日歯大）
 - 5) 西関東支部
 1. 日時：平成21年1月25日（日）
 2. 場所：神奈川県歯科医師会館
 3. テーマ：「前歯部欠損補綴の審美と咬合を考える」
 4. 講師
 - 1) 小川勝久（東京支部）
 - 2) 玉置勝司（神歯大）
 5. 座長：木本克彦（神歯大）
 - 6) 東海支部
 1. 日時：平成20年11月29日（土）
 2. 場所：じゅうろくプラザ
 3. テーマ：「口腔の金属アレルギー」
 4. 講師
 - 1) 竹内 宏（朝日大）
 - 2) 服部正巳（愛院大）
 5. 座長：黒岩昭弘（松歯大）
 - 7) 関西支部
 1. 日時：平成21年2月8日（日）
 2. 場所：社団法人和歌山県歯科医師会館
 3. テーマ：「下顎欠損補綴の難症例にどう対処するか」

4. 講師：市川 哲雄（徳島大）
 5. 座長：前田 芳信（大阪大）
- 8) 中国・四国支部
- セミナー 1
1. 日時：平成20年8月31日（日）
 2. 場所：B-Con Plaza（ビーコンプラザ）
 3. テーマ：「顎関節症に対する開業医の取り組み」
 4. 講師
 - 1) 和田 信（中津市開業）
 - 2) 窪木拓男（岡山大）
 5. 座長：古谷野 潔（九州大）
- セミナー 2
1. 日時：平成20年8月31日（日）
 2. 場所：B-Con Plaza（ビーコンプラザ）
 3. テーマ：「接着ブリッジの臨床」
 4. 講師：近藤康弘（倉敷市開業）
 5. 座長：貞森紳丞（広島大）

IX. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条7項）

1. 市民フォーラムの開催

平成20年度は、市民フォーラムを15回開催した。

総参加者数：約1,700名

1) 平成20年6月8日（日）

1. 場所：愛知学院大学楠元校舎110周年記念講堂
2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会
3. テーマ：「高齢期の快適な食生活のために」
4. 座長：佐藤裕二（昭和大）
5. 講師
 - 1) 小野寺定幸（社団法人愛知県栄養士会）「高齢者の忘れてはならない栄養問題のポイント」
 - 2) 上谷律子（財団法人日本食生活協会）「食べることは生きること」
 - 3) 竹内一夫（愛知学院大）「義歯で快適に食べる」
6. 参加者数：200名

2) 平成20年7月16日（水）

1. 場所：千葉市文化センター

2. 主催：（財）千葉市文化振興財団
 3. 後援：社団法人日本補綴歯科学会東関東支部
 4. テーマ：「口腔の美と笑うこと」
 5. 座長：なし
 6. 講師：佐藤 亨（東歯大）
 7. 参加者数：130 名
- 3) 平成 20 年 7 月 23 日（水）
1. 場所：千葉市文化センター
 2. 主催：（財）千葉市文化振興財団
 3. 後援：社団法人日本補綴歯科学会東関東支部
 4. テーマ：「入れ歯と健康 2008」
 5. 座長：なし
 6. 講師：櫻井 薫（東歯大）
 7. 参加者数：130 名
- 4) 平成 20 年 8 月 31 日（日）
1. 場所：別府市 B-Con Plaza（ビーコンプラザ）
 2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会九州支部、中国・四国支部主催
 3. 後援：大分県歯科医師会
 4. テーマ：「噛むことの大切さ」
 5. 座長：市川哲雄（徳島大）
 6. 講師：
 - 1) 瀬口清文（大分市開業）
 - 2) 津賀一弘（広島大）
 7. 参加者数 400 名
- 5) 平成 20 年 10 月 19 日（日）
1. 場所：郡山市民交流プラザ
 2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会東北・北海道支部主催
 3. 後援：福島県歯科医師会・郡山歯科医師会
 4. テーマ：「高齢者の健康を維持するための口腔管理 - 入れ歯やお口の汚れが誤嚥性肺炎に！！ - 」
 5. 座長：鎌田政善（奥羽大）
 6. 講師：
 - 1) 清浦有祐（奥羽大）
 - 2) 阪口英夫（医療法人尚寿会 大生病院歯科口腔外科）
 7. 参加者数：60 名
- 6) 平成 20 年 10 月 19 日（日）

1. 場所：東京医科歯科大学
 2. 主催：東京医科歯科大学お茶の水祭実行委員会
 3. 後援：社団法人日本補綴歯科学会東京支部
 4. テーマ：「医科と歯科のチーム医療 - 顎顔面補綴治療 - 」
 5. 座長：なし
 6. 講師：谷口 尚（東医歯大）
 7. 参加者数：35 名
- 7) 平成 20 年 10 月 19 日（日）
1. 場所：日本歯科大学生命歯学部
 2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会東京支部・関越支部
 3. テーマ：「「噛む」ことと「おいしさ」の関係 - 歯科的食育のススメ - 」
 4. 座長：波多野泰夫（日歯大）
 5. 講師：原 節宏（日歯大）
 6. 参加者数：100 名
- 8) 平成 20 年 10 月 25 日（土）
1. 場所：日本大学歯学部
 2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会東京支部
 3. 共催：日本大学歯学部桜歯祭実行委員会
 4. テーマ：「ここまでできる補綴（ほてつ）処置 - 部分床義歯の話 - 」
 5. 座長：棧 淑行（日本大）
 6. 講師：永井栄一（日本大）
 7. 参加者数：84 名
- 9) 平成 20 年 11 月 8 日（土）
1. 場所：昭和大学・昭和大学歯科病院
 2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会東京支部
 3. テーマ：「暮らしと健康 いびきと歯ぎしり 意外と怖い歯ぎしり - 他人事だと思いませんか - 」
 4. 座長：なし
 5. 講師：馬場一美（昭和大）
 6. 参加者数：58 名
- 10) 平成 20 年 11 月 8 日（土）
1. 場所：京都府歯科医師会館
 2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会関西支部
 3. 後援：（社）京都府歯科医師会後援

4. テーマ：「かんで食べれば健康長寿！」
5. 座長：岡田政俊（京都府）
6. 講師：小野高裕（大阪大）
7. 参加者数：20名

11) 平成20年11月29日（土）

1. 場所：岐阜市じゅうろくプラザ
2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会東海支部
3. 後援：岐阜県歯科医師会・三重県歯科医師会
4. テーマ：「食べられる？食べられない？並んだ料理を前にさてあなたは？」
5. 座長：蒔田真人（静岡県）
6. 講師：
 - 1) 荒木章純（愛学大）
 - 2) 碓 哲崇（朝日大）
7. 参加者数：200名

12) 平成20年11月30日（日）

1. 場所：新潟市だいしホール
2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会関越支部
3. テーマ：「入れ歯とインプラントの話」
4. 座長：小林 博（新潟大）
5. 講師：
 - 1) 野村修一（新潟大）
 - 2) 小司利昭（日歯大新潟）
6. 参加者数：50名

13) 平成21年1月20日（火）

1. 場所：千代田区立 高齢者センター
2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会東京支部
3. テーマ：「最新！歯の病気と体の健康 - 入れ歯の大切さ -」
4. 座長：高津匡樹（日本大）
5. 講師：
 - 1) 月村直樹（日本大）
 - 2) 高津匡樹（日本大）
6. 参加者数：20名

14) 平成21年1月25日（日）

1. 場所：神奈川歯科大学附属横浜研修センター
2. 主催：社団法人日本補綴歯科学会西関東支部

3. テーマ:「噛むことの不思議—咀嚼とメタボリックシンドローム—」
4. 座長:豊田 實(神歯大)
5. 講師:
 - 1) 小野塚 実(神歯大)
 - 2) 細井紀雄(鶴見大)
6. 参加者数:100名

15) 平成21年2月15日(日)

1. 場所:オークラ千葉ホテル
2. 主催:社団法人日本補綴歯科学会東関東支部
3. 後援:千葉県歯科医師会
4. テーマ:「健やかライフはお口の健康から - メタボリックシンドロームと歯周病との強い関わりについて - 」
5. 座長:櫻井 薫(東歯大)
6. 講師:奥田克爾(東歯大)
7. 参加者数:90名

2. 取材協力

- 1) 失った歯を人工物で再現する「補綴」とは何か?
Yomiuri Special-40 歯科の実力、P34-38(総頁193)
読売新聞医療情報部編、読売新聞東京本社、2008
- 2) 学会 Focus(社)日本補綴歯科学会「健康科学を基盤とした歯科補綴学の構築に向けて」Dental Tribune Vol.4. No.10:26-27、2008
3. 広報・社会連携委員会へのホームページ(メール)を通じての問い合わせおよび返答件数は、平成19年4月~平成21年1月31日までで、計314件であった。

X. 総会(定款第30条1項、2項)

1. 第1回定例総会:平成20年6月6日

議事の経過及び結果

第1号議案 議事録署名人の選出について

定款第35条に基づき、倉知正和議長、平井敏博理事長、川良美佐雄理事を議事録署名人としたい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。

第2号議案 平成19年度事業および決算について

資料1を基に、矢谷理事から平成19年度事業について、資料2~7を基に、森戸理事から平成19年度決算について、ならびに資料8を基に、武田監事から平成19年5月19日に開催された監査報告が行われた後、定款第42条に基づき審議の結果、全会一致で承認された。

第3号議案 名誉会員の推薦について

資料9を基に、矢谷総務理事から、定款第6条に基づき、関西支部長推薦の井上 宏先生を名誉会員に推薦する旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。

第4号議案 学術大会参加費の改定について

資料10を基に、平井理事長から、学術大会参加費の改定について諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。

2. 第2回定例総会：平成21年2月28日

議事の経過及び結果

第1号議案 議事録署名人の選出について

定款第35条の規定により、平成20年度第2回定例総会の議事録書名人について、議長である古屋良一先生、平井敏博理事長、大川周治理事の3名を選出したい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で可決された。

第2号議案 平成21年度事業計画(案)について

定款第32条の規定により、資料1を基に、平成20年度第2回理事会で承認された平成21年度事業計画書(案)について審議の結果、全会一致で可決された。

第3号議案 平成21年度収支予算(案)について

定款第32条の規定により、資料2を基に、平成20年度第2回理事会で承認された平成21年度収支予算書(案)について審議の結果、全会一致で可決された。

第4号議案 社団法人日本補綴歯科学会 平成21・22年度理事の選任について

役員・代議員選任規程第4条の規定により、資料3を基に、社団法人日本補綴歯科学会 平成21・22年度理事の選任について審議の結果、全会一致で可決された。

第5号議案 社団法人日本補綴歯科学会 平成21・22年度監事の選任について

役員・代議員選任規程第5条の規定により、資料4を基に、社団法人日本補綴歯科学会 平成21・22年度監事の選任について審議の結果、全会一致で可決された。

第6号議案 社団法人日本補綴歯科学会 平成21・22年度代議員の選任について

役員・代議員選任規程第6条の規定により、資料5を基に、平成20年度第2回理事会で承認された社団法人日本補綴歯科学会 平成21・22年度代議員の選任について審議の結果、全会一致で可決された。

第7号議案 次々期理事長選挙候補適任者選挙規則(改正案)について

資料6を基に、平成20年度第2回理事会で承認された次々期理事長選挙

候補適任者選挙規則(改正案)について審議の結果、全会一致で可決された。

第8号議案 名誉会員の推薦について

名誉会員推薦規則第4条の規定により、資料7、8を基に、平成20年度第2回理事会で承認された関越支部推薦の森田修己先生、ならびに関西支部推薦の川添堯彬先生の社団法人日本補綴歯科学会名誉会員への推薦について審議の結果、全会一致で可決された。

XI. 理事会(定款第27条1項)

1. 第1回理事会:平成20年6月6日

議事の経過及び結果

第1号議案 議事録署名人の選出について

定款第35条に基づき、議長である平井敏博理事長、松村英雄理事、佐藤亨理事を議事録署名人としたい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。

第2号議案 平成19年度事業および決算について

資料1を基に、矢谷理事から平成19年度事業について、資料2~7を基に、森戸理事から平成19年度決算について、ならびに資料8を基に、武田監事から平成19年5月19日に開催された監査報告が行われた後、定款第42条に基づき審議の結果、全会一致で承認され、平成20年度第1回定例総会に諮ることとなった。

第3号議案 名誉会員の推薦について

矢谷総務理事から、資料9を基に、定款第6条に基づき、関西支部長推薦の井上宏先生を名誉会員に推薦する旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認され、平成20年度第1回定例総会に諮ることとなった。

第4号議案 新規指導医申請者の承認について

矢谷総務理事から、資料10を基に、平成20年4月14日開催の平成20年度第1回専門医制度委員会認定部会において適格とされた13名の新規指導医について、専門医制度規則第8条に則り審議したい旨が諮られ、審議の結果、新規指導医14名が全会一致で承認された。

第5号議案 新規認定研修施設の承認について

佐藤亨理事から、資料11を基に、平成20年4月14日開催の平成20年度第1回専門医制度委員会認定部会において適格とされた新規認定研修施設(甲)2件、(乙)1件について、専門医制度規則第5条に則り審議したい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。

第6号議案 新入会員について

矢谷総務理事から、資料12を基に、平成20年2月26日から5月30日

までの新入会員について審議の結果、正会員 163 名、準会員 1 名、ならびに賛助会員 1 社の入会が全会一致で承認された。

第 7 号議案 社団法人日本補綴歯科学会倫理綱領の制定について

矢谷総務理事から、資料 13 を基に、社団法人日本補綴歯科学会倫理綱領を制定したい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。なお、倫理綱領に抵触する事例に対しては、査問委員会（仮称）を設置することを予定している旨の報告が行われた。

第 8 号議案 倫理審査委員会の設置について

大川理事から、資料 14、15 を基に、本学会に、研究計画を審査する倫理審査委員会を設置する旨について諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。倫理審査委員会の構成は、委員長 1 名、本会理事 3 名、倫理・法律を含む人文・社会科学面の有識者、自然科学面の有識者、一般の立場のものから 2 名の計 6 名とすることが確認され、任命は理事長一任としたい旨が諮られ、全会一致で承認された。

第 9 号議案 新英文誌、新和文誌の発刊について

大川理事、ならびに志賀理事から、資料 16～22 を基に、新和文誌の名称を「日本補綴歯科学会誌(英文名:Annals of Japan Prosthodontic Society)」、新英文誌の名称を「Journal of Prosthodontic Research」に変更する旨、学会誌の略称について、新和文誌を「日補綴会誌」、新英文誌を「J Prosthodont Res」とする旨の変更に伴う関連する規程等の改正案が諮られ、審議の結果、一部文言の修正が確認された後、全会一致で承認された。

第 10 号議案 学術大会参加費の改定について

皆木理事、ならびに森戸理事から、資料 23 を基に、学術大会参加費の改定について諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。なお、本議案は総会承認事項ではないが、社員の理解と承認が重要な案件であるため、平成 20 年度第 1 回定例総会に諮ることが確認された。

第 11 号議案 財務委員会幹事の交代について（財務委員会規程）

矢谷総務理事から、前財務委員会幹事の松本亀治先生のご退職に伴い、鶴見大学の山本 健先生を幹事に推薦したい旨が諮られ、全会一致で承認された。

2. 第 2 回理事会：平成 21 年 2 月 28 日

議事の経過及び結果

第 1 号議案 議事録署名人の選出について

定款第 35 条の規定により、平成 20 年度第 2 回理事会の議事録書名人について、議長である平井敏博理事長、鱒見進一理事、佐藤博信理事の 3 名を

選出したい旨が諮られ、全会一致で承認された。

第2号議案 平成21年度事業計画(案)について

定款第32条の規定により、資料1を基に、平成21年度事業計画書(案)が諮られ、審議の結果、全会一致で承認され、平成20年度第2回定例総会に諮ることとなった。

第3号議案 特別積立金の取り崩しについて

定款第40条、ならびに専門医制度整備基金規定第6条の規定により、特別積立金の取り崩しを行いたい旨が諮られ、全会一致で承認された。

第4号議案 平成21年度収支予算(案)について

定款第32条の規定により、資料2を基に、平成21年度収支予算書(案)が諮られ、審議の結果、全会一致で承認され、平成20年度第2回定例総会に諮ることとなった。

第5号議案 社団法人日本補綴歯科学会 平成21・22年度代議員の選任について

役員・代議員選任規程第6条の規定により、資料3を基に、平成21・22年度代議員の選任について諮られ、審議の結果、全会一致で承認され、平成20年度第2回定例総会に諮ることとなった。

第6号議案 倫理調査委員会規程の制定について

資料4を基に、倫理調査委員会規程の制定について諮られ、全会一致で承認された。

第7号議案 次々期理事長選挙候補適任者選挙規則(改正案)について

資料5を基に、次々期理事長選挙候補適任者選挙規則(改正案)が諮られ、全会一致で承認され、平成20年度第2回定例総会に諮ることとなった

第8号議案 専門医制度規則(改正案)について

資料6を基に、専門医制度規則(改正案)が諮られ、全会一致で承認された

第9号議案 名誉会員の推薦について

名誉会員推薦規則第4条の規定により、資料7を基に、関越支部推薦の森田修己先生、ならびに資料8を基に、関西支部推薦の川添堯彬先生を社団法人日本補綴歯科学会の名誉会員に推薦したい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認され、平成20年度第2回定例総会に諮ることとなった。

第10号議案 新規指導医申請者の承認について

専門医制度規則第8条の規定により、資料9を基に、平成20年9月19日開催の平成20年度第2回認定部会で資格確認が行われた新規指導医申請者11名を承認したい旨が諮られ、全会一致で承認された。

第11号議案 新規認定研修施設の承認について

専門医制度規則第5条の規定により、資料10をもとに、平成20年9月19日開催の平成20年度第2回認定部会で資格確認が行われた新規認定研修機関(乙)3件を承認したい旨が諮られ、全会一致で承認された。

第12号議案 平成20年度日本補綴歯科学会特別功労賞の推薦について

表彰制度規程の規定により、学会特別功労賞の推薦について、資料11を基に、選考委員会から理事長に以下に記載する5名の推薦があり、理事会において審議したい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。また、学会特別功労賞の授賞式は、第118回学術大会時の総会において執り行うことが確認された。

井上 宏(いのうえ ひろし)先生(名誉会員)
濱田泰三(はまだ たいぞう)先生(名誉会員)
坂東永一(ばんどう えいいち)先生(名誉会員)
細井紀雄(ほそい としお)先生(名誉会員)
渡邊 誠(わたなべ まこと)先生(名誉会員)

第13号議案 平成20年度日本補綴歯科学会優秀論文賞(学会論文賞、中堅優秀論文賞、特定推進研究優秀論文賞、奨励論文賞)の受賞者の推薦について

表彰制度規程の規定により、優秀論文賞等の受賞者の推薦について、資料12を基に、推薦委員会から理事長に以下に記載する学会論文賞2名、中堅優秀論文賞2名、特定推進研究優秀論文賞1名、奨励論文賞5名の推薦があり、理事会において審議したい旨が諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。また、優秀論文賞等の授賞式は、第118回学術大会時の表彰式において執り行うことが確認された。

学会論文賞

森戸光彦(もりと みつひこ)先生(鶴見大)
五十嵐順正(いがらし よしまさ)先生(医歯大)

中堅優秀論文賞

石垣尚一(いしがき しょういち)先生(大阪大)
村上 格(むらかみ まもる)先生(鹿児島大)

特定推進研究優秀論文賞

松野彰仁(まつの あきひと)先生(大歯大)

奨励論文賞

田坂彰規(たさか あきのり)先生(東歯大)
牛来慎太郎(ごらい しんたろう)先生(東北大)
高橋 史(たかはし ふみ)先生(日歯新潟)
犬飼美香(いぬかい みか)先生(医歯大)

吉嶋佑佳（よしじま ゆか）先生（徳島大）

第 14 号議案 新入会員について

定款第 7 条の規定により、資料 13 を基に、正会員 174 名、準会員 12 名、
ならびに資料 14 を基に賛助会員 1 社の入会について諮られ、審議の結果、全
会一致で承認された。

第 15 号議案 平成 21 年度認定部会委員について

専門医制度委員会規程第 3 条の規定により、資料 15 を基に、専門医制度
委員会・認定部会長から、任期の終了する認定部会支部選出委員の所属する
支部長宛に推薦依頼を行っているところであり、各支部から推薦された平成
21 年度支部選出認定部会委員を予め承認したい旨が諮られ、審議の結果、
全会一致で承認された。

第 16 号議案 有床義歯補綴診療のガイドライン改訂案について

平成 19 年 4 月 10 日に第 1 版が発行された有床義歯補綴診療のガイドラ
インについて、当日資料をもとに、有床義歯補綴診療ガイドライン作成委員
会（赤川委員長）から提出された改訂案について、今後医療情報サービス
Minds への収載手続きを進めることが諮られ、審議の結果、全会一致で承認
された。

第 17 号議案 歯保連立ち上げへの賛同協力について

有限責任中間法人日本歯学系学会協議会がとりまとめている歯保連（歯
学系学会社会保険委員会連合）の準備委員会の立ち上げに対し、本学会が賛
同し、協力することが諮られ、審議の結果、全会一致で承認された。

XII. 委員会活動（定款第 5 条）

1. 委員長会：平成 20 年度に 5 回開催

2. 常設委員会

学術委員会、編集委員会、財務委員会、医療委員会・医療問題検討部会、医療
委員会・診療ガイドライン作成部会、医療委員会・社会保険部会、教育問題検討
委員会、専門医制度委員会・運営・研修部会、専門医制度委員会・認定部会、広
報社会連携委員会・広報社会連携部会、広報社会連携委員会・ホームページ・ニ
ューズレター部会、国際渉外委員会、規程検討委員会、用語検討委員会、研究企
画推進委員会、特命事項担当委員会、特別功労賞推薦委員会、優秀論文賞推薦委
員会を開催した。

3. その他の委員会

補綴における病名検討委員会、ノンクラスプデンチャーに関するワーキンググ
ループ会議を開催した。

XIII. 会員数 (平成 21 年 3 月 31 日現在) (定款第 6 条)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 正会員 | 6,225 名 |
| 2. 準会員 | 61 名 |
| 3. 法人会員 | 44 社 |
| 4. 名誉会員 | 66 名 |
| 会員数合計: | 6,396 名 |

XIV. 雑誌寄贈先

- | | |
|-------|--------|
| 1. 国内 | 107 団体 |
| 2. 国外 | 37 団体 |